

令和 6・7年度 研究主題

自分の思いを表現する楽しさを味わう幼児を育てる
ーかいたりつくったりする中でー

第2回 研究部会

令和7年7月9日（水） 場所 大阪市立桜宮幼稚園

本日のねらい



4歳児：好きな遊びを見つけ、自分なりにイメージをもってかいたり、つくったりして遊ぶ。

5歳児：自分なりに工夫したり、友達と一緒に考えたり試したりしながらかいたり、つくったりして遊ぶ。

遊びの様子

事前に、幼児がかいたり、つくったりして遊ぶ姿を動画で撮影した。その中から、4つの遊びについて、全部員で視聴し、分科会で主題に迫る話し合いをした。

ポテトをつくって遊ぶ

- ・生活経験から、ポテトのイメージに合うように、画用紙を細長く切ってから半分にすることを繰り返し楽しんでいた。
- ・落ちたポテトを一本残らず拾うなど、自分のつくったものを大切にしていた。
- ・丁寧にポテトの容器をつくり、本物に近付けるようにしている。
- ・自分のイメージを形にしようと教師に聞いて、Mの文字をポテトの入れ物に書いていた。

メイク道具をつくって遊ぶ

- ・自分なりに、イメージをもち、素材の中からイメージに合うものを選び、工夫してつくっていた。
- ・自分のつくったメイク道具をメイクボックスに入れ、大事にしていた。
- ・細かい部分にまでこだわり、丁寧につくっていた。
- ・つくったメイク道具で、教師や人形にメイクをするを楽しんでいた。

トンネルをつくって遊ぶ

- ・自分たちでつくったトンネルをくぐることを楽しんでいた。
- ・暗いトンネルにはライトが必要だと感じ、ライトの冠を付けることでより世界観が広がっていた。
- ・友達が考えたものを一緒につくったり修理したりするを楽しんでいた。
- ・トンネルの向こう側が見えるように、スズランテープを選んで貼ったことで、綺麗になったと満足感を感じていた。

ジュースをつくって遊ぶ

- ・ジュースの自動販売機をつくりたいという思いから、繰り返しジュースに見立てた色画用紙を入れ試行錯誤してつくっていた。
- ・色画用紙をはさみで切ったものを果物に見立て、筒に繰り返し入れていた。
- ・友達が考えたものを一緒につくったり、壊れた箇所を丁寧に修理したりしていた。
- ・素材に合わせて、テープの強さや種類を選んでいた。
- ・自動販売機を丈夫にするために、どうしたらいいのか考えながら、試行錯誤していた。

分科会 <討議の視点>

- ① かいたりつくったりして遊ぶ中で、自分の思いを表現することを楽しんでいる姿とはどのような姿であったか。また、そのような姿が見られるきっかけとなる心の動きは、どのようなものであったか。
- ② その要因となった教師の教育的意図をもった働きかけや環境はどのようなものであったか。

5グループに分かれ、視点に沿って分科会を行い、「幼児が表現することを楽しむ姿」「教師の教育的意図をもった働きかけ」や「環境」表現することを楽しむことにつながった“心の動き”について話し合いをした。



<ポテトをつくって遊ぶ>

視点①

- ・ポテトをイメージして画用紙を細長く切り、更にそれを半分に切って、黙々と繰り返しつくっていた。生活経験から、より本物に近付けようとしていた。

視点②

- ・幼児がイメージしたものをすぐにつくることができるように、いろいろな色の画用紙や素材を用意していた。また、幼児が見て分かりやすいように、色や形ごとにかごに分類し、手に取りやすいようにしていた。
- ・幼児がつくったものに対して受け止めの言葉かけをしたり、茶や赤のポテトを「焦げたポテトもあるよね」「ケチャップが付いている」などと幼児の思いに寄り添った具体的な言葉かけをしたりしていた。

<メイク道具をつくって遊ぶ>

視点①

- ・自分なりにイメージをもち、つくったメイク道具を使って、教師や人形にメイクをして遊んでいた。
- ・きらきらの箱を鏡が付いたメイク道具箱に見立て、丁寧につくっていた。

視点②

- ・幼児が接着の仕方を考える姿や丁寧にメイク道具をつくる姿、きらきらの箱を鏡に見立てていることなどを見逃さず、認める言葉かけをしていた。
- ・幼児がつくったメイク道具を使って、メイクをしたいという気持ちを受け止めたり、教師が幼児にメイクをしてもらったりするなど、遊びに加わって楽しさに共感していた。

<トンネルをつくって遊ぶ>

視点①

- ・「トンネルの向こう側に光が差し込んで見えるようにしたい」という思いで、選んだスズランテープを繰り返し貼っていた。
- ・つくったトンネルに満足感をもち、教師や友達と一緒にくぐって遊ぶことを楽しんでいた。

視点②

- ・トンネルを廊下に設置することで、光が差しして美しさを感じられるように工夫していた。
- ・幼児がトンネルづくりで工夫したところに驚いたり、素敵なのところを見つけ言語化したりすることで、満足感につなげていた。

<ジュースの自動販売機をつくって遊ぶ>

視点①

- ・色画用紙をはさみで切ったものを果物に見立てて自動販売機の筒の上から入れ、ジュースが筒の下から出てくるように試行錯誤しながら何度も微調整してつくっていた。
- ・自動販売機を壊れないように強くしたいという思いを実現するために、友達と一緒に剥がれにくい強いテープを探して修理していた。

視点②

- ・幼児の思いを実現できるように、ジュースが出てこない原因を一緒に考えたり、友達に投げかけたりしていた。
- ・壊れた自動販売機を修理したいという幼児の思いを受け、自分でどのテープが適しているか考えられるようにしたり、やってみたいという意欲を引き出したりするような言葉かけをしていた。

指導講評 大阪市教育局事務局 指導部 初等・中学校教育担当 指導主事

- ・今回の研究保育は幼児の実態に即した活動ができる内容であった。実際の保育を見るのとは違い、焦点を絞って同じ動画を見ることで、ゆっくりと丁寧に幼児の姿を捉えて、話し合うことができた。

○『教師の働きかけがあり、安心して表現することを楽しむ』

- ・事前保育では、素材を使って車などの乗り物をつくって遊ぶ幼児の姿から、教師が「何かできたらいいな」という思いをもって大きなシートなどの環境を用意することで、伸び伸びと線路や道路をかく姿につながった。
- ・教師の思いや願いから環境や言葉かけをすることで、大きなシートにかいた絵を切り分け、線路や道路をつくる遊びに広がった。
- ・子どもたちの実態に即した形でいろいろな環境を用意するなどの教師の働きかけがあることで、幼児の遊びや表現が広がっていくことにつながる。

○『素材や道具を使って、表現することを楽しむ』

- ・牛乳パックに黄色と茶色の 2 色の毛糸を入れラーメン屋さんをしていた。その後、券売機をつくり、ラーメンを提供したり、出前に行くなどしたりする遊びが展開された。イメージが広がる素材が身近にあることで遊びが広がった。

○『友達から刺激を受けたり、友達と一緒に目的をもったりして、表現することを楽しむ』

- ・5 歳児の車づくりに刺激を受けて、4 歳児数人が、それぞれ自分の車をつくっていた。一箇所だけ 2 つのキャップをつなげてタイヤにしたかった子どもが、一つ付けている途中でテープが終わってしまい「足りない。どうしよう」と考えながら周りを見ていた。すると、友達がつくったテープの残りを見つけ、「これだ」と思い、そのテープを使って貼ることができ、満足していた。

<子どもの育ちが見えたところ>

- ・テープを手で切ったり、貼ったりする技術が、とても上手になっていた。
- ・小麦粉粘土の硬さが、温度によって違うことに気づき、硬さを生かしたものをつくっていた。
- ・用途に合わせたテープを選択してつくっていた。
- ・友達の作品から刺激を受け、自分の作品に工夫を加え、自分なりの工夫や表現を楽しんでいた。
- ・教師の働きかけにより、黙々と集中してつくっていた。
- ・適した材料を考え、なぜその素材を選んだのかを相手に伝えていた。
- ・友達に、自分の作品について、工夫したところを説明していた。



【学んだこと・感想】

- ・教師が、幼児の思いや願いに沿って環境を整えたり、幼児がつくったものに共感したりすることで、幼児は安心してじっくりと遊びに向い表現することを楽しむということが分かった。
- ・教師は、幼児一人一人の生活経験から生まれる遊びや考えを丁寧に受け止め、存分に試行錯誤しながら表現することができる環境や時間を保障することが大切であるということを再確認した。
- ・幼児の遊びを動画で視聴することで、部員全員が同じ場面を共有し、幼児の姿を多面的に読みとることができた。